

日ア総発第08-6号
平成20年10月1日

需要家各位

社団法人 日本アルミニウム合金協会
会 長



燃料及び副資材価格高騰に伴うアルミニウム二次合金業界の現況について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会会員に対し、格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご高承のことと存じますが、アルミニウム二次合金地金製造に不可欠な燃料及び金属珪素等の副資材価格が昨年来著しく高騰しております。

当業界におきましては、これまで生産の合理化、省エネ設備の導入等を通じコストアップの吸収に努力してまいりましたが、ここ数年の大幅な高騰は、すでに自助努力の範囲を超えるものであります。

中小企業の多い当業界にとりまして、製造原価の大幅な上昇は、利益率が極めて低い業界特有の事情からも深刻な収益の圧迫要因となっております。

こうした状況が継続しますと、当協会会員企業の経営基盤を揺るがすのみならず、安定供給もままならず、需要家各位に多大なご迷惑をおかけすることにもなりかねないと憂慮するところであります。

つきましては、会員企業をご相談に伺った際には、当業界の現況等、諸般の事情をご賢察の上、十分な協議を行っていただけますようお願い申し上げます。

敬 具

原油、添加金属の高騰によるアルミニウム二次合金地金製造コストへの影響

平成20年10月1日
(社) 日本アルミニウム合金協会

アルミニウム二次合金地金を製造するのに不可欠であります燃料油及び副資材の金属珪素が最近著しく高騰しており、二次合金メーカー各社にとっては大きな負担増となっております。

過去3年間の燃料油（A重油、再生重油）及び金属珪素のコスト推移を別紙のとおりグラフにしてみました。

また、代表的なアルミニウム二次合金地金AD12.1を1トン製造するのに必要な燃料油及び金属珪素のコストについて、平成17年4月と直近の平成20年7月のコストを比較すると、以下のとおりであります。

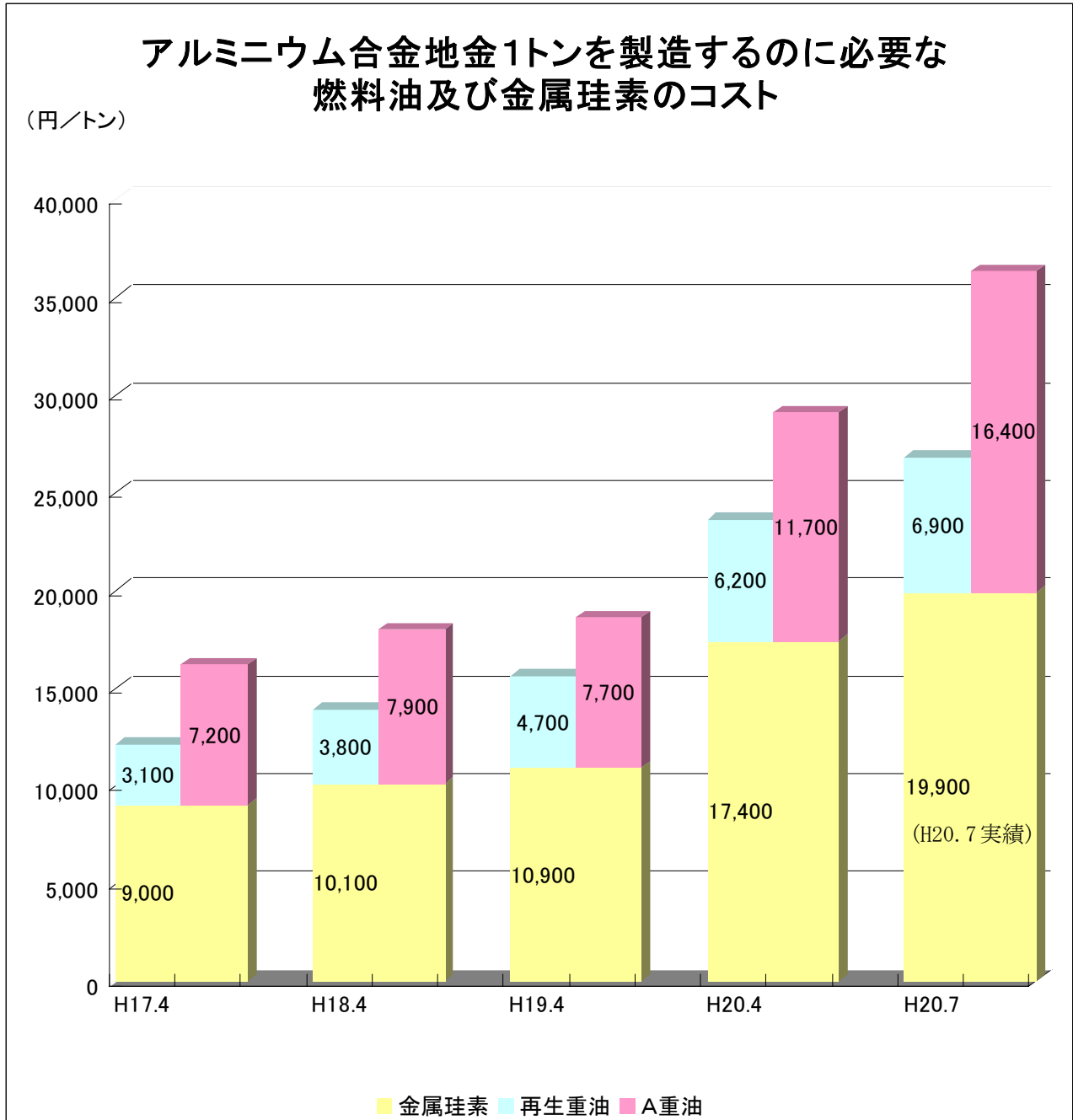
【A重油を使用している事業所】

	A重油		金属珪素		A重油+金属珪素	
平成17年4月(A)	7,200円/トン	} +9,200円	9,000円/トン	} +10,900円	16,200円/トン	} +20,100円
平成20年7月(B)	16,400円/トン		19,900円/トン		36,300円/トン	
B/A	2.28倍		2.21倍		2.24倍	

【再生重油を使用している事業所】

	再生重油		金属珪素		再生重油+金属珪素	
平成17年4月(A)	3,100円/トン	} +3,800円	9,000円/トン	} +10,900円	12,100円/トン	} +14,700円
平成20年7月(B)	6,900円/トン		19,900円/トン		26,800円/トン	
B/A	2.23倍		2.21倍		2.21倍	

アルミニウム二次合金地金1トンを製造するのに必要な燃料油及び金属珪素のコスト



注1. 燃料油の原単位は144ℓ/MTで試算。

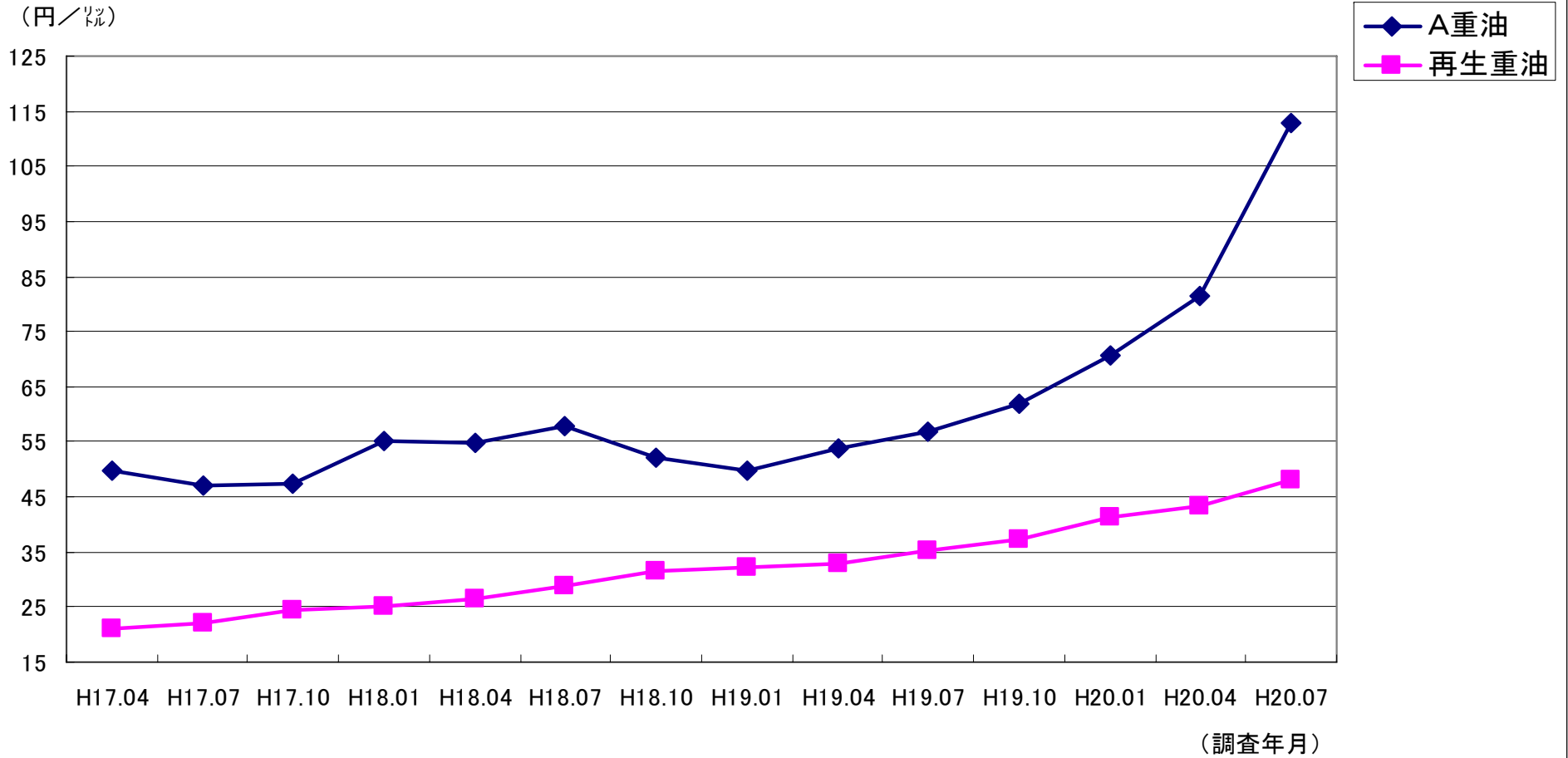
①再生重油の価格は(社)日本アルミニウム合金協会「エネルギー消費実態調査」による会員の現金購入価格(単純平均)。

②A重油の価格はRIM調査価格。

注2. 金属珪素は添加率7%/MTで試算。

金属珪素の価格は、財務省「輸入通関(CIF)」平均価格。

重油購入価格の推移

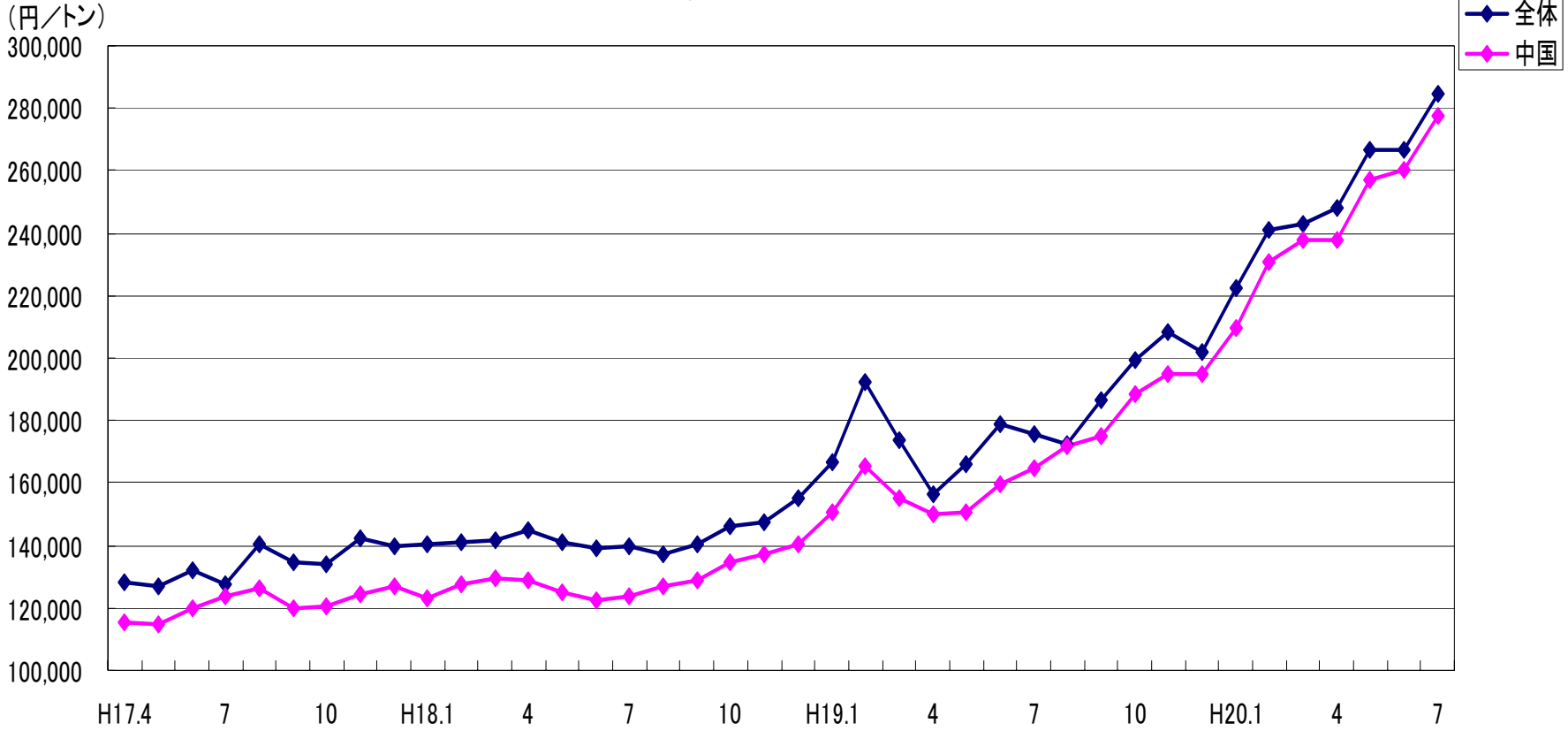


出 所：A (L/S) 重油 R I M調査価格

再生重油 合金協会「エネルギー消費実態調査」

(各社平均現金ベース)

金属珪素輸入価格の推移



出所：財務省貿易統計
(輸入通関(C I F)平均価格)